

第六号の二書式（第二十条の三関係）（A4）

記入例

建築士法第23条の6の規定による
設計等の業務に関する報告書（令和6年度分）

（第一面）

建築士法第23条の6の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。
この報告書の記載事項は事実と相違ありません。

静岡県知事 殿

令和7年1月6日

一級

二級 建築士事務所 静岡県知事登録第12345号
木造

所在地 静岡市葵区追手町9-6
事務所名 住まいづくり建築士事務所
電話番号 054-221-3072
建築士事務所の開設者の氏名又は名称 静岡 太郎

〔記入注意〕 建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

- 赤字部分を記載。
 - 押印不要。
 - 毎事業年度経過後3ヶ月以内に提出。
 - 最寄りの土木事務所へ紙で提出又は住まいづくり課宛てメールで提出
- ※メール提出の場合、受信確認メールの送付は行っていません。

(第二面)

記入例

建築士事務所の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
- 2 〔例〕

建築物所在地 都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期間
静岡県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 五階建延 700 m ²	設計及び 工事監理	6.2.1 6.10.3
静岡県	事務所	鉄骨造 1 階建て 410.5 m ²	設計及び 工事監理	R6.1.10～ R6.3.10
実績なし 注1				
静岡県 注2	事務所	鉄骨造 1 階建て 410.5 m ²	設計及び 工事監理	R6.1.10～ 継続中

- ・直近の実績から記載。
- ・実績がない場合、「実績なし」と記載。注1
- ・完了していない業務は「継続中」と記載。注2
- ・業務内容例:設計、工事監理、耐震調査、建築に関する手続きの代理(代願)
(内装やリフォームについても、設計や工事監理を行っている場合は記載する)
- ・実績が多い場合は、「別添のとおり」と記載し、第二面の次ページに別書式で添付しても構いません。記載事項に不足がないよう注意してください。

所属建築士名簿

氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び管理建築士である場合にあってはその旨	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	建築士法第22条の2第1号から第3号に定める講習のうち直近のものを受けた年月日	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第22条の2第4号及び第5号に定める講習のうちそれぞれ直近のものを受けた年月日
静岡 太郎	一級建築士 管理建築士 注1	123456		R6.1.20 注2・3	構造一級	234567	R6.1.30 注4
静岡 次郎	二級建築士		静岡県	未受講 注5			

・事業年度内に所属している、所属していた建築士を全て記載。（年度途中で所属・退職した建築士も記載する）

・管理建築士の記載をすること。注1

・所属建築士の定期講習受講日を記載。注2

・定期講習は受講したが修了証がまだ交付されていない場合、修了証が交付された前回の定期講習受講日を記載。注3

・構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士の定期講習受講日を記載。注4

・未受講の場合は、「未」や「未受講」等わかるように記載すること。注5

					一級建築士		1名
					二級建築士		1名
			計		木造建築士		名
					構造設計一級建築士		1名
					設備設計一級建築士		名

